

農業の  
豊かさ  
人の和の  
大切さー！

第八回

練馬大根

引っこ抜き競技大会



平成26年

12月7日(日)

午前9時30分 式典開始

練馬区

南大泉の畑

午前10時00分 競技開始

～大会で収穫した練馬大根は、練馬区立の全小中学校で給食に提供されます～

主催：練馬区・JA東京あおば 後援：(一社)練馬区産業振興公社 (株)農協観光 (一財)内田農業振興会  
協力：練馬区観光協会 JA東京中央会 JA全農東京 JAバンク東京信連 JA共済連東京

# ご挨拶

練馬区では、区内の生産農家の皆様やJA東京あおばの方々と力を合わせ、全国的にも有名な江戸東京野菜である「練馬大根」の育成事業に取り組んでいます。

練馬大根は、形状が長大で中太りであることから、青首大根に比べると、引き抜くのに多くの労力が必要です。

本大会に参加される皆様には、楽しみながら練馬大根を収穫し、安全・安心な野菜を提供する生産者の努力や苦勞の一端を体験していただくことで、貴重な財産である都市農地と都市農業への理解を深めていただければ幸いです。

また、収穫した練馬大根は、全区立小中学校において給食食材として使用し、地産地消の促進と子どもたちの食育につなげていきます。次世代を担う子どもたちに練馬の農の魅力を伝えるとともに、地場農産物に愛着を持っていただきたいと考えております。

結びに、本大会の開催に当たり、会場をご用意いただきました生産者、また賞品をご提供いただいた方々をはじめ、大会開催にご協力いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

練馬大根引っこ抜き競技大会会場へようこそ、お越しくございました。ここに第8回練馬大根引っこ抜き競技大会が盛大に開催されますことを大変喜んでおります。

本日、地区内外から大勢の皆様に参加して頂き、又近年競技レベルも大変上がってまいりました。一体何処で練習をされているのか、ぶっつけ本番に強い方がいるのか、大根の抜きっぷりが農家顔負けの猛者が毎年現れます。今年はどんなつわものが現れるか楽しみにしております。

練馬大根とは、練馬地方で作り始めた大根をいいます。練馬大根の栽培は江戸時代に始まりました。この地方の表土は深くて大根栽培の適地であり、すぐれた大根が生産され、練馬といえはすぐに大根を思い起こすほどの国内有数の産地となっていきました。その後、昭和初期まで盛んに栽培され続けますが、昭和8年の大千ばつや、度重なるモザイク病の大発生によって大きな痛手を受けました。その後も、食生活の洋風化・急激な都市化による農地の減少などにより、生産量が衰退し、練馬大根が出回る事が殆どなくなってしまいました。

このような経緯の中で、練馬大根など、知名度があるブランド、練馬農産物を育成していく一環として、さまざまなイベントを行い都市農業に対する理解や地域を活性化させる活動に取り組んでいます。

この練馬大根引っこ抜き競技大会に関与された大勢の方々の力強いご支援、ご協力に改めて厚く御礼申し上げます。



大会会長  
前川 耀 男



大会副会長  
榎 本 高 一

# 大会日程

8:45	受付
9:20	準備体操
9:30	開会式 開会宣言 大会会長・大会副会長挨拶 来賓祝辞・紹介 審判長ルール説明 選手宣誓 デモンストレーション：井口 哲哉 様 来賓「練馬大根引っこ抜き体験」
10:00	競技開始 選手権の部（予選） グループ参加の部 選手権の部（決勝戦）
12:10	競技終了
12:30	表彰・閉会式 成績発表 表彰 グループ参加の部 記録の部 選手権の部 他 閉会挨拶

## 大根を抜くポイント

- ① 大根を垂直に抜くため、なるべく大根に近づきましょう
- ② 根の向きを確かめ、無理なく抜ける方向を決めましょう
- ③ 葉はすばやく束ね、小脇に挟みましょう
- ④ 手で引き抜くのではなく、ひざの屈伸で抜くイメージです
- ⑤ ゆっくりと、抜き終わるまで折らないよう注意しましょう

**優勝めざして引っこ抜け!!**

# 練馬大根引っこ抜き競技大会クラス別ルール

## ●選手権の部（男性の部・女性の部）

- ①抜く際、軍手以外の使用は認めない。（イボ付き、ゴム手袋は失格となります）
- ②1人で**指定時間内に抜いた「本数」を競う。**  
**失格：2本折った場合・故意に折った場合。（審判の判断による）**
- ③選手は競技開始地点の大根から順番に抜くこととするが、全く抜けなくて次に進むことができないと判断した場合には、審判に確認してパス（現在の大根を飛ばして次の大根にチャレンジすること）を認めるものとする。**但し、パスは1回までを有効とし、2回以上パスした場合には失格とする。（パスを1回して、1本折った場合も失格とする）**
- ④審判の指示に従う。
- ⑤予選上位10人で決勝戦を行う。
- ⑥決勝戦進出ラインで抜いた大根の本数の記録が同数の場合は同点決勝(サドンデス)を行う。
- ⑦最終順位は決勝戦での成績による。（但し、予選と同様、抜いた大根の本数が同数の場合は同点決勝（サドンデス）を行う。）
- ⑧総合優勝は選手権の部（男性の部・女性の部）決勝戦で最も成績の優秀な選手に与える。但し、男性と女性のハンディキャップを考慮し、過去大会成績に基づいて女性は抜いた本数プラス5本の成績とする。
- ⑨選手の任意により、『記録の部』にエントリーすることが出来る。（記録の部 参照）

## ●グループ参加の部 ～15歳（中学生）以下の方と保護者（5名以内）～

- ①抜く際、軍手以外の使用は認めない。（イボ付き、ゴム手袋は失格となります）
- ②1グループで**指定時間内に抜いた中で最も長い大根の「長さ」を競う。**  
**※ただし、指定時間内であっても10本抜き終わったグループは終了とする。**  
**失格：2本折った場合・故意に折った場合。（審判の判断による）**
- ③審判の指示に従う。
- ④記録が同数の場合は同点決勝（サドンデス）を行い、指定時間内に抜いた大根の中で最も長い大根の長さを競い上位3チームを決定する。
- ⑤チームの任意により、『記録の部』にエントリーすることが出来る。（記録の部 参照）

## ●記録の部

- ①競技終了者が競技で抜いた大根の中で、最も長い大根・最も重い大根・おもしろい形の大根を1本ずつ選び、競う。
- ②農園主が選んだお気に入り大根にも賞を与える。（農園園主賞）  
選手権・グループ参加の部の、長さ・重さで入賞を逃したものの中から一点。
- ③全て自己申告制とし、エントリーする場合、競技終了後計量所へ大根を持参する。
- ④ただし、失格者は自己申告できない。
- ⑤審査結果は全競技終了後の表彰式で発表される。

※農家の方が未来を担う子供達の為に、丹精こめて作った練馬大根です。

子ども達が心待ちにしている学校給食で使用する野菜ですので、大切に扱ってください。